［様式２－１］

作成課　　市民協働推進課

令和元年度　施設管理運営事業評価票

1 評価対象施設

公の施設の名称		地域利用施設　光明会館			
所在地		宝塚市光明町１０－２４			
指定管理者	団体名	光明会館管理運営委員会	指定期間	開始日	平成 28 年 4 月 1 日
	所在地	宝塚市光明町１０－２４		終了日	令和 3 年 3 月 31 日
選定方法		非公募	評価実施年		指定期間 5 年のうち 3 年目
施設設置目的		地域社会における市民相互の交流及び相互扶助並びに市民の主体的な学習活動等を促進し、連帯感のある新しいコミュニティづくりに資するため			
主な実施事業		会館管理運営事業			

2 利用状況（目標と実績）

成果指標		単位	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
			目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
a	利用回数	回		1,679		2,503		1,895		1,867
b	稼動率	%		26.2		47		35.6		35.1
c										
d										
e										

3 指定管理業務にかかる収支状況

（単位：千円）

区　分		平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度決算	平成30年度決算	令和元年度予算
収入計	A	1,844	1,737	2,109	1,812	1,696
指定管理料		399	339	339	339	343
利用料収入	C	1,346	1,342	1,440	1,416	1,300
自主事業収入		0	0	0	0	0
その他		99	56	330	57	53
支出計	B	1,784	1,737	1,882	1,879	1,946
指定事業費		1,784	1,737	1,882	1,879	1,946
内、人件費	D	540	540	540	540	540
内、再委託料	E	0	0	0	0	0
自主事業費		0	0	0	0	0
事業収支	A-B	60	0	227	(67)	(250)
利用料金比率	C/A	73.0%	77.3%	68.3%	78.1%	76.7%
人件費率	D/B	30.3%	31.1%	28.7%	28.7%	27.7%
再委託費比率	E/B	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

・「支出」欄「指定事業費」は、代表的な内訳を取り上げているため合計額とはならない。
・着色セルは、自動計算としている。
・事業費は、前年度以前の決算を記載する。また、最右欄には、今年度予算を記載する。

補足説明	

4 評価

注）自己評価・・・指定管理者　所管評価・・・施設所管課

評価項目	評価基準	自己評価	所管評価
① サービスの履行の確認	法例に基づいた点検、報告の実施、個人情報への配慮、保守点検、清掃等の日常業務、緊急・災害時の市への円滑な連絡と協力等、業務の実施状況についての評価を行う。	A	A
② サービスの質の評価	事故防止、安全確保、環境への配慮、利用者に対する接遇、苦情処理への適切な対応等、利用者に提供するサービスの質の水準を評価する。	A	A
③ サービスの安定性の評価	専用の口座、帳簿等を備え、収支計画に沿って適切に経理、予算決算処理がなされているか評価を行う。	A	A
指定管理者所見（成果、課題等）	・年次協定・計画に従って運営している。モニタリングで確認。 ・登録団体の一部が高齢化で活動休止のため、退会あり。 よって、使用料収入は減少にある。また、新規加入団体が少ない。 ・継続して公開事業を主催し、地域住民の親睦と交流の場を提供し、アンケートと合わせ施設の ニーズ調査に努めている。 ・利用内容は文化・教養・スポーツ・福祉と網羅されている。		
施設所管課所見（成果、課題等）	地域住民のニーズに即した運営が行われており、また金銭管理も適切に処理されています。 運営にあたっては、業務日誌作成や継続実施するアンケート調査等により、利用者の意見を運営面に反映し、サービスの質の向上に努めるとともに、今後とも地域に親しまれ、利用しやすい施設であるよう努めていただきたいと考えています。		
前年評価	A	**総合評価**	A

※評価区分

評価基準:	A（優良）	＝ 協定書、仕様書等を遵守し、要求水準よりも優れている。
	B（良好）	＝ 協定書、仕様書等を遵守し、要求水準を概ね満たしている。
	C（要改善）	＝ 協定書、仕様書等に定める要求水準を満足していない。
総合評価:	A（優良）	＝ 自己評価、所管評価の《総括》にCが含まれず、かつAが4つ以上ある。
	B（良好）	＝ 優良、要改善以外の評価
	C（要改善）	＝ 自己評価、所管評価の《総括》にCが2つ以上含まれる。